

早くこいこいお正月 その2

今まで使ってきた参考書や、単語集や、文法書及び各教科のテキスト等の索引を使って、最後の知識の取りまとめを行う時期だ。

それも10～15分単位で、次から次へと、基礎基本から今まで積み上げてきた知識の総体をもう一度チェックする時期である。

そのためにノートを書き上げてきたとするなら、格好の学習のベースになるだろう。各教科のまとめと、模擬試験の復讐の総まとめをしていきながら、2次試験用の問題演習を自分の頭で解き上げる技を磨いてほしい。

一つのキャンバスに絵を描くのと一緒に、白い地のままの部分をとにかくなくし、全体のバランスを見ながら、濃淡をつけていくように色を載せていくのだ。色は何度でも塗り返すことができる。塗り替えしながらはっきりとした境界と、全体の中での強弱を見つけていくことが大切である。

あるいは、様々なパートからなるシンフォニーを各部署ごとに点検を繰り返しながら、音のメリハリと各パートのメリハリを確認していくごとくである。

様々なシミュレーションを予想することも大事だ。こう来たらこう返す。逆だったらこうする。サーブからいかに点数を重ねるかを毎日練習してきたことだろう。まっすぐ高めを振りぬくことができるか。空いたスペースに切り込んでいくことができるか。スクリーンを利用して、3点シュートをものにできるか。コースを絞ってブロックできるか。皆、毎日の繰り返しの中で、それぞれが卓越してきた技術を思い出せ。それぞれの協議の中で培った方法を今駆使していけ。そのためのアウトプット＝部活動であったはずだ。

失敗も数々あったろう。こうすればもっとよかったのにと思ったことが、今花咲く道を形作る。花の咲き方は様々だが、一人一人に必ず花咲くときはやってくる。咲かない花はない。実らない実はない。

咲く時期をじっと待って、実る時期をじっと待って、一気に咲き実る季節のために力をため込むのだよ。さあ、諸君。前へ進みなさい。磐城の花が今花開くよ。チーム磐城として、一つの大きな力になろう。

高い志と熱い魂をもって、今こそ乗り越えるぞ、諸君。